

帰国子女教育研究

文部省指定 精道小学校

「将来の日本にとって、海外経験を積んだ帰国子女は、貴重な財産と考えらるべきである。」

帰国子女教育への対応の基本は、現地で学んだ利点が、日本の学校に入学的の際や入学後に正当に評価されるよう、日本の学校で工夫がなされることである。(臨時教育審議会答申より)

「新しい国際化」の時代のあり方が、臨教審答申によって改めてクローズアップされてきました。が、芦屋市ですでに二十年前も前から文部省指定を受け、帰国子女教育研究協力校として研究を続け

て、昭和三十二年に指定を受けて以来、一貫して小学校における国際理解教育のあり方を研究、「国際社会に生きる豊かな人間性を持った児童の育成」を目指してきました。

精道小学校では、海外体験児童が二十一人いますが、編入に際して、日本語が十分話せない、日本の生活習慣に慣れていないなど、適応が困難と認められる場合には、国語・算数を中心に専任教師が学級担任と連携しながら、別の教室で特別に指導を行っています。

また、学校・学年行事や児童会活動では、外国の生活文化を体験してきた帰国児童と、日本での生活しか知らない一般児童との交流を行い、お互いの国の良さを学びあっています。

さらに、外国の児童との文通や作品交換も積極的になされています。

昨年六月には、精道小学校の海外ペンパルクラブが文通や作品交換をしているシカゴのマリー校から五・六年生の児童四人を招いて交流をしました。(写真下)

また、毎年、外国の絵本コイン、絵はがき等を集めて展示したり、世界のまつりやゲームを紹介するなど、児童会活動も活発に行われています。

小学校教育課程の研究

文部省指定 打出浜小学校



元横綱琴桜閣を招いての土俵開き

子供たちが目を輝かせて学習に取り組む授業。教師ならだれでも望んでいることです。

山の子とカヌーで交歓、パーソナルコンピュータ、四十台を使った公開授業(一人一鉢・花づくり、元横綱琴桜閣(佐渡ヶ嶽親方)をはじめ報徳学園高校相撲部を招いて「土

俵開き」など、ユニークな試みを次々に発表している打出浜小学校。ここも文部省の指定で「小学校教育課程の研究」を進めている学校です。

「開かれた学校づくり」をめぐって、今年も、いよいよ緊急を要する大きな課題です。社会環境の悪化から子供たちを守るために、学校や地域住民が一体となつて取り組もうという趣旨で、阪神県民局の指定を受けているのは、精道中学校区青少年育成学校地域スクラム事業です。

この事業は、精道中学校・宮川・打出浜の各小学校、PTA、自治会などが連携して、地域ぐるみで活動を展開しようとするものです。

「あいさつ運動」「街頭指導」「たそがれコンサート」などの事業は、すでに実施されています。昨年八月二十九日、精道中学校校庭で行われ好評を博した「たそがれ

てにわたる指導方法の研究をしているのです。

「主体的に考え、行動する子供の育成」をテーマに、子供達の思考力、創造力、表現力をどう伸ばすか、体験的な活動や教育工学的手法を取り入れた新しい授業の方法を探っています。

机上の資料に頼るだけでなく、学級から野外へ出て体験しながら思考力を深めていく。

授業効率を一層上げるため、どんなときにどんな教育機器を活用したら良いか——など。

こんな目標に向けて、子供たちが自ら課題を知り、解決していくための学習意欲を起こさせる試みが、徐々に実を結びつつあります。



米国・シカゴのマリー校との交流会

学校では、いま、こんな研究をしています。

市内の学校園では、特色ある学校園づくりを目指して、いま研究活動が進められています。このことは、昨年の「学校をよくする懇話会」でも話題になったことです。

今回は、その一部をご紹介します。

楽しい学校給食をめざして

文部省指定 岩園小学校

ですが、このようなやり方は全国でも少なく、また、岩園小学校のように大規模校での研究指定校は、珍しいので、その成果が大いに期待されています。

指定されたのは、昭和二十八年の完全給食の実施と同時になされてきた学校独自の献立による手づくり給食と栄養指導等が、高く評価された結果によるものです。

具体的には、「こどもの日」のかしわもち、「冬至」にはかぼちゃのみそ汁といったような季節料理を取り入れた食事内容の工夫と、偏食をなくするなど健康教育活動を関連させて進めてきました。

指定研究一年目の昨年度は、立ち歩いたり、口に食物をほおばったまま話をしないなど、給食のマナーの指導、少食の子や嫌いな食べ物のある子には、量の加減や励ましをしなが、配ったものを全部食べるよう指導して効果をあげました。

一方、献立調理においても、化学調味料や食品添加物は使用しないで、だしは、こんぶ・けずりぶし・とりがらで取るのが、熱いものは熱いうちに、冷たいものは冷たいうちに食べるような工夫などの試みが多くなされてきました。

児童減による空き教室を利用して、急ピッチで改造していたランチルーム(多目的に使われる食事室)もすでに完成しました。新設のランチルームでは、たとえば六年生と四年生の異なったクラスが一緒に食事をする交流給食が実現します。

地域スクラム事業

阪神県民局指定 精道中学校区

「開かれた学校づくり」をめざして

「開かれた学校づくり」これも、いま緊急を要する大きな課題です。社会環境の悪化から子供たちを守るために、学校や地域住民が一体となつて取り組もうという趣旨で、阪神県民局の指定を受けているのは、精道中学校区青少年育成学校地域スクラム事業です。

この事業は、精道中学校・宮川・打出浜の各小学校、PTA、自治会などが連携して、地域ぐるみで活動を展開しようとするものです。

「あいさつ運動」「街頭指導」「たそがれコンサート」などの事業は、すでに実施されています。昨年八月二十九日、精道中学校校庭で行われ好評を博した「たそがれ

コンサート」は、地域スクラム事業の意義を訴え、地域の人たちに協力を呼びかけるために企画されたものです。

こうした子供たちを守る地域ぐるみの取り組みは、急速にその効果をあげてきています。

精道中学校区における非行件数は前年度に比べて著しく減ってきました。これからの具体的な取り組みについては、今後さらに検討され、これまでの活動に加えて新たな企画がなされていくことになっていきます。

このページは市教育委員会総務課(☎02121内線501)で編集しています。

なげなく
言つた言葉で
きずがつく

「差別をなくそう県民運動」の標語募集で、佳作に入選した永松美浩くん(精道中学一年)の作品です。



好評だった「たそがれコンサート」。

この「広報あしや」を公演当日ご持参のうえご来場ください。前売券扱いとします。ご利用ください。

2nd Vanguard Jazz Concert

5月21日(土) 開演P.M. 6:00

出演 長谷川元伸と
ニューソニック
オーケストラ
ゲスト 古谷 充 他
大塚 善章
ホスト 安達 治彦

前売¥2,800
当日¥3,000



Y. TOYAMA + ELEVEN

ARTISTS

外山雄三とその仲間達

6/24(金) 前売¥3,000
19:00 open 当日¥3,300



お問い合わせ
ルナ・ホール協会
業平町8-24
(☎31-4962)